**大阪府議会２月定例会での議論について（概要）**

【新工業系高校について】

|  |
| --- |
| **令和４年３月４日（金）一般質問　角谷庄一議員（大阪維新の会）** |
| **質問内容：新工業系高校における企業連携について** |
| （角谷議員）新しい工業系高校の教育内容は、基礎的な指導は教員が行い、先端技術は企業から派遣された優秀なエンジニアが指導する等、変化の著しい技術に適宜対応したものでなければならず、様々な面で企業の支援を得ることは必須であると考えますが、認識は如何。 |
| （教育長）新しい工業系高校では、大学や企業と連携し、高い技術力を有する方々が、日々の授業の中で、生徒と継続的に交流を重ねることで、新しい知識や技術をキャッチアップできる仕組みについて、施設整備も含め、検討しているところでございます。 |

【工業系高校全般について】

|  |
| --- |
| **令和４年３月８日（火）一般質問　広野瑞穂議員（大阪維新の会）** |
| **質問内容：工科高校生の卒業後の進路支援について** |
| （広野議員）卒業後の明確なビジョンと実践力を持つ大阪の産業基盤を支える人材を育成していくためにどのような取り組みを行っていくのか。 |
| （教育長）今後、企業や大学等との連携をさらに強化することで、積極的に外部人材を活用し、最新技術・技能に対応した実践的な授業等の機会を増やすことにより、授業の質の向上に取り組んでいく。 |

|  |
| --- |
| **令和４年３月14日（月）教育常任委員会　山下浩昭議員（公明党）** |
| **質問内容：工業系高校の教育内容の充実について** |
| （山下議員）今後、専門性の高い人材による指導や最先端の設備が一層必要になるとともに、人的・物的な教育資源の共有を学校間で進めていくことが、より重要となるのではないか。このような状況の中、今後、工業系高校の教育内容をどのように充実させていくのか。 |
| （高校再編整備課長）新規の実習装置など、各校の特色ある設備を学校間で相互に利用することにより、生徒や教員の最新技術の習得と技能の一層の向上に取り組むこととしている。また、世界に通用する技術を有する在阪企業や理工系大学など、国内外で活躍する外部人材を活用した最新技術・技能に関する講習等の機会を増やすことにより、授業の質の向上とともに教員のスキルアップにも取り組んでいく。 |
| （山下議員）今後、小・中学生や保護者、中学校教員をはじめとする多くの方々に、工業系高校の取り組みを知ってもらうために、どのように魅力を発信し、将来のものづくり人材の育成につなげていくのか。 |
| （高校再編整備課長）今後、小・中学生を対象とした出前授業や中学校教員を対象とした進路説明会などの取り組みを強化するとともに、ショッピングモール等での「ものづくり体験教室」の機会を増やすなどにより、工業系高校への理解を深めていただけるように努めてまいる。また、女子中学生等を対象とした女性エンジニアや工業系高校女子生徒による交流会を実施するなど、ものづくり分野に関心を持てるような取り組みを進めてまいる。 |

２－５

２－５